

子どもたちが未来に希望をもって 成長できるよう、ご支援ください。

SPONSORSHIP
PROGRAM
1日
133円
から！

スポンサーシップ・プログラムは、**月々4,000円(1日133円)の継続支援**です。あなたの支援があれば、「十分な栄養をとってすくすくと育つことができる」、「学校に通い続けることができる」、「仕事を手に入れて自立できる」、そんな子どもたちがいます。あなたの手で、子どもたちのいまと未来を支えてください。

スポンサーシップ・プログラムの概要

支援地域	フィリピン、ネパール、スリランカ (お選びいただけます)
金額	4,000円/月(子ども1人あたり)
人数	1人～複数人可
子どもが支援を受ける期間	フィリピン、ネパール … 18歳頃まで スリランカ … 24歳まで

支援者の皆さまの声！

教育を受ける環境にいない子どもたちを支援したいと思い、支援を始めました。子どもからのお手紙を読むたび、支援をしている実感がわきます。

京都府 / 西澤さま

私自身の子どもはすでに自立しているので、無邪気で懸命に生きている現地の子どもとの手紙のやりとりを通じて、いつも励ましを受けています。

岐阜県 / 加藤さま

学校でフィリピンの子どもたちを支援しています。フィリピンでは、子どもたちが勉強しながら兄弟の世話などもしていると知り、私もほかの人のために動ける人になりたい、自分の当たり前を見直したいと思いました。

東京 / 青山学院初等部6年生

スポンサーシップ・プログラムへのお申し込み

チャイルド・ファンド・ジャパンのWEBサイトからお申し込みいただけます。

スポンサーシップ・プログラム 申し込み 検索

<https://www.childfund.or.jp/form/support.php>

クレジットカード、銀行引落、郵便振替、コンビニ払い、銀行振込がご利用いただけます。



※チャイルド・ファンド・ジャパンは東京都より認定NPO法人の認定を受けており、ご寄付の最大約40%が寄付金控除の対象となります(確定申告が必要です)。※支援の継続が難しくなったときは、ご連絡いただければ支援を中止することができます。また、再開もいつでも可能です。
※領収書は毎年1月下旬に前年1年間にいただいたご寄付の分をまとめてお届けします。



特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン とは

途上国の貧困地域に暮らす子どもたちを支援する国際協力NGOです。戦後、海外からの支援を受けて日本の戦災孤児の支援を行っていましたが、日本の経済成長を経て、1975年に「今度は日本がアジアの子どもたちを支援する」ことを決意し、「支援の受け手から担い手へ」と舵をきりました。貧困の中で生きる子どもたちの健やかな成長を目指して、**母子保健、乳幼児栄養、教育、青少年育成、子どもの保護、アドボカシー(政策提言)**などの活動を行っています。これまでに、2万9千人以上の方に支援いただき、3万人以上の子どもたちを支援してきました。世界70カ国以上で活動するチャイルド・ファンド・アライアンスのメンバーでもあります。

〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5

TEL 03-3399-8123 [受付]月～金 / 10:00～17:00

FAX 03-3399-0730

E-Mail inquiry@childfund.or.jp

<https://www.childfund.or.jp>

Ch[★]IdFund
Japan

チャイルド・ファンド・ジャパンの
活動はSDGs達成につながります

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



「学校に行きたい」
「夢に向かって
勉強を続けたい」
その子の未来を支えるのはあなた

あなたと子どもがつながって、子どもも地域も守られる。

1日
133円
から！

SPONSORSHIP
PROGRAM

スポンサーシップ・プログラム

Ch[★]IdFund
Japan



さまざまな理由で、 学校に通い続けられない 子どもたちがいます。

ネパールに住むアスタのストーリー

ネパールで暮らす10歳の女の子アスタ。苦しい家計を助けるため、朝から家畜の世話をこなし、重いタンクを抱えながら水汲み場まで往復します。両親も働いていますが、家計は生活していくのがやっと。学校に通うための制服や文房具をそろえるのも大変です。



家から学校までは、山道を歩いて片道30分。2〜3時間かかる友達もいて、学校に行くだけでも大変です。学校の教育の質が低く修了試験で点数がとれなかったり、10代で結婚して、学校に通うことをやめてしまう友達もいます。

アスタのように家の手伝いをする子どもの中には、親から「女の子は学校に行かずに家の手伝いをすればいいんだ」と言われ、学校をやめてしまう子もいます。

ネパールだけでなく世界には、学校に行きたくても行くことができない子どもたちがたくさんいます。でも、子どもたちにとって学校は友達と過ごすことができ、勉強をして夢を見つけることができる大切な場所です。



「子どもを支える 地域」を つくり ます



スポンサーシップ・プログラムなら

成長記録や手紙で、 現地の子どもとつながれる

毎年届く成長記録や手紙のやりとりを通して、成長を見守り、支援の成果を実感することができます。子どものプロフィールや地域の紹介資料などもお届けします。



※手紙を出すとお返事が届きます。手紙は必ず出さなければいけないわけではありません。
※子どもからの手紙には日本語訳を付けられます。

現地の子どもの
成長記録が
年に1度届きます！

チャイルド・ファンド・ジャパンの
スポンサーシップ・プログラムは、
アスタたちのような厳しい環境に暮らす
アジアの子どもを支える支援プログラムです。
あなた(支援者)と子どもをつなぎ、
「子どもへの支援」と「家族・地域への支援」を
行うことで、その子どもを中心とした
地域をつくり、子どもの未来を守ります。

スポンサーシップ・プログラムの特徴

1 子どもへの支援

子どもの成長段階に 合わせた支援

健全な成長に欠かせない栄養や保健・衛生の支援、学校に通い続けるための学用品の支給、自立を支援する職業訓練など、子どもの成長に合った支援を行います。



2 家族・地域への支援

子どもを支える地域を つくる

子どもだけを支援しても、家庭や地域の環境が改善されないと、根本的な解決にはなりません。家族への支援・啓発、学校の教育の質向上、行政と連携した制度づくり(アドボカシー)。こうした地域全体への支援が、子どもたちの未来を持続的に支えます。



ネパールの親子からのメッセージ

家庭の負担が軽くなりました！

お母さん(38歳)

必要な学用品をすべて支給していただき、息子は安心して学校に通うことができるようになりました。私たち家族にとっても、経済的な負担が軽くなり、とても助かっています。先生方への研修で、学校の教育もとてもよくなりました。本当に感謝しています。



学校に行くのが楽しみになった！

アダーシュ(14歳)

文房具や制服などを支援してもらい、学校で勉強するのが楽しくなったし、もっと頑張りたい！と思うようになりました。啓発の活動にもかかわることができて、自分に自信ができました。スポンサーさんとチャイルド・ファンド・ジャパンの支援に本当に感謝しています。

「スポンサーシップ・プログラム」のお申し込み方法は裏面をご覧ください